

PHILHARMONIC SOCIETY TOKYO

フィルハーモニック・ソサイエティ・東京
第3回 定期演奏会

2017.

11.18 Sat

18:30 19:00

全席自由 1,000円



シベリウス ▼ ヴァイオリン協奏曲 二短調 Op.47

マーラー ▼ 交響曲第1番 二長調

【交響形式による音詩「巨人」1893年ハンブルク稿】
国際マーラー協会新全集版 アマチュア日本初演

Saturday, November 18th, 2017 19:00
Conductor: Kiyotaka Teraoka
Violin: Kota Nagahara
SUGINAMI KOUKAI DOU Hall

Jean Sibelius / Konzert d-moll für Violine und Orchester op.47
Gustav Mahler / Titan - Eine Tondichtung in Symphonieform in zwei Teilen

指揮者 | 寺岡 清高
(大阪交響楽団 常任指揮者)

ヴァイオリン | 長原 幸太
(読売日本交響楽団 コンサートマスター)

杉並公会堂 大ホール

新しい音楽との“出会い”を 生み出すオーケストラ

フィルハーモニック・ソサイエティ・東京は、東京都内の学生オーケストラ出身者が中心となり、2016年に結成し活動を開始したアマチュアオーケストラです。メンバーの多くが、働きながらも週末には熱心に音楽活動に勤しむ社会人であり、「社会人になっても好きな音楽を続けたい」という思いのもと、日々練習を行っています。

第1回定期演奏会において、寺岡清高氏を指揮者に迎え、ピアニストのイリーナ・メジュエワ女史と共演しました。著名な音楽家との共演や、一般には取り上げられない曲目、アマチュアオーケストラで演奏される機会が少ない曲目の演奏にも、積極的に取り組んでいます。

指揮者：寺岡清高 (大阪交響楽団 常任指揮者)

Conductor : Kiyotaka Teraoka

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て、ウィーン国立音楽大学、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院で学ぶ。1997年同音楽院より「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティのアシスタントとしてロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等と同行し研鑽を積む。これまでに指揮を高階正光、カール・エステルライヒャ、ウロシュ・ラーヨヴィッチ、湯浅勇治、カルロ・マリア・ジュリーニ、ヨルマ・パヌラ、ネーメ・ヤルヴィの各氏に師事。2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。これまでにヴェニスのフェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、イギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団を始め、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本では2001年に大阪交響楽団を指揮してデビュー。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等を指揮している。2004年1月より大阪交響楽団正指揮者、2011年4月より同楽団常任指揮者。ウィーン在住。



ヴァイオリン： 長原幸太 (読売日本交響楽団 コンサートマスター)

Violin : Kota Nagahara

広島県呉市生まれ。東京芸術大学、ジュリアード音楽院に学ぶ。1994年、ヴィエニャフスキ国際コンクール(17歳以下の部)第3位。98年、日本音楽コンクール最年少優勝。小澤征爾、岩城宏之、秋山和慶、ゲルハルト・ボッセらと共演。室内楽や各オーケストラの客演コンサートマスターとしても活躍し、アルゲリッチ国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等にも出演。2004年、大阪フィル首席客演コンサートマスターに就任、06年から12年まで首席コンサートマスターを務めた。14年10月、読売日本交響楽団コンサートマスターに就任。

2017. **11.18** (土) 開場 18:30 開演 19:00 **杉並公会堂 大ホール**

Saturday, November 18th, 2017 19:00

※当日 18:30 から指揮者によるプレトークがございます。

お問い合わせ

HP ▶ <http://philharmonic-society.tokyo/>

Mail ▶ philharmonic.society.tokyo@gmail.com

TEL ▶ 050-3395-6410



チケットぴあ

<http://t.pia.jp>

Pコード：338-508

